

現在当院では発熱・風邪症状の患者様に対して、風邪やインフルエンザか新型コロナかの区別は難しいため一般の患者様とは入口も分けて完全防御の上診療しております。

以下の検査が可能です

①PCR 検査（唾液・鼻咽頭拭い）保険診療 ＊翌日結果報告 陰性証明可能

ご希望される方は自費での PCR 検査（唾液自己採取）も承ります。

②抗原検査（鼻咽頭拭い）保険診療 ＊簡易キット 15 分で判定可能

③抗体検査（採血）＊過去の感染が気になる方

④ワクチン後抗体検査（採血）＊ワクチンの効果が気になる方

一般的な急性ウイルス感染症の場合、血中の抗体は発症後数日ほどで IgM 抗体が出現しその後 中和抗体である IgG が出現すると言われております。  
また、ワクチン接種が進む中、ご自身のワクチン効果の抗体量も調べることが可能です。  
現段階では抗体検査での有用性については確立されていないため、診断等の目的ではなくご自身の抗体量の目安としてご活用ください。

《目的》

- ☆現在新型コロナウイルスが体内に病原体（ウイルス）が存在しているかどうかを調べる検査で現状では診断目的で使用（PCR 検査・抗原検査）
- ☆現在感染症状のない方に対して、新型コロナウイルス感染症の IgG・IgM 抗体をトータルに調べ同ウイルスに感染していたかどうかを調べる（抗体検査）
- ☆ワクチン接種後、体内で産生される中和抗体 IgG 抗体量を測定し体内における免疫反応を評価する（ワクチン後抗体検査）

《対象者》

- ☆中学生以上
- ☆現在、発熱、咳、倦怠感、嗅覚・味覚障害、下痢 等風邪症状のある方＝PCR・抗原検査
- ☆濃厚接触があった方＝PCR・抗原検査
- ☆濃厚接触のない方・症状のない方・気になる方 ＝自費 PCR 検査・抗体検査
- ☆2 回以上ワクチンを接種された方で、接種後 2 週間以降希望される時期＝ワクチン後抗体検査

《PCR 検査・抗原検査・抗体検査の方法》

- ☆希望される方はメール [katagiriin@gmail.com](mailto:katagiriin@gmail.com) かお電話 03-3761-3948 でお申し込みください
- ☆実施日及び来院時間：火・水・木・金・土（診療時間内）
- ☆本人確認できるもの（保険証など）を持参し、マスク着用の上ご来院ください
- ☆症状のある方や濃厚接触者の方は保険診療での抗原・PCR 検査の案内となりますので別入口から来院にて個別対応とさせていただきます。
- ☆通常、新型コロナの抗原検査を行いますが、判断によりインフルエンザとの同時検査も行います  
陰性でも新型コロナの感染が疑わしい場合はご希望により PCR 検査を行います  
抗原検査は鼻咽頭を少し擦っての検査となります（15 分程度で判定）
- ☆PCR 検査は唾液を 2cc 採取しますので 30 分以内の飲食や強いマウスウォッシュは禁止ですが食べ物の残差物が混ざると正確な検査が出来ませんので軽くうがいをお願いします
- ☆即日 PCR 検査結果を連絡し、陽性の場合抗ウイルス薬などのお薬の追加に対応します
- ☆肘の静脈から 2cc 程度の採血をします（抗体検査）翌々日に検査用紙が上がりますので結果をメールまたは郵送いたします

《会計》(クレジットカード可)

☆抗原検査・PCR検査・初診料やお薬代等が保険診療にて一部負担金有り

☆新型コロナの抗ウイルス薬も保険診療の一部負担で処方可能です

(当面一部負担金の限度額設定あり)

●ラゲブリオ ●パキロビットパック ●ソコーバ (お薬手帳などで常用薬の確認が必要)

☆抗体検査 6,000 円 ※感染後確認を希望される場合 8,000 円

☆ワクチン接種後抗体検査 6,000 円

《注意事項》

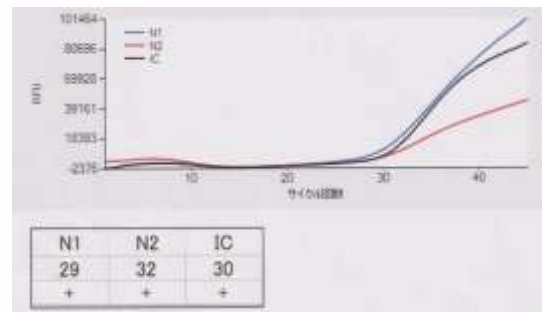
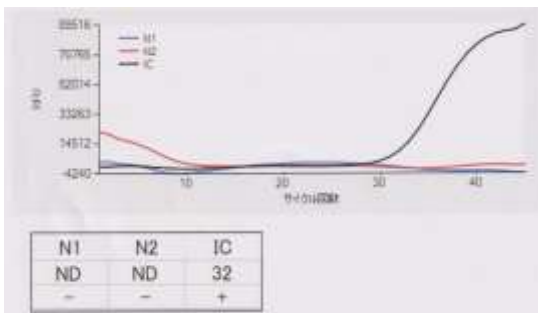
★新型コロナウイルス抗体検査についてのお問い合わせは、日常診療に支障をきたすため、お電話では承っておりません。ご質問は原則メールにてお願いいたします。

⇒メールアドレス: katagiriin@gmail.com

★風邪症状がある方はお電話かHP予約にてご予約ください 電話: 03-3761-3948  
保険診療にて 抗原検査・PCR検査が可能です。

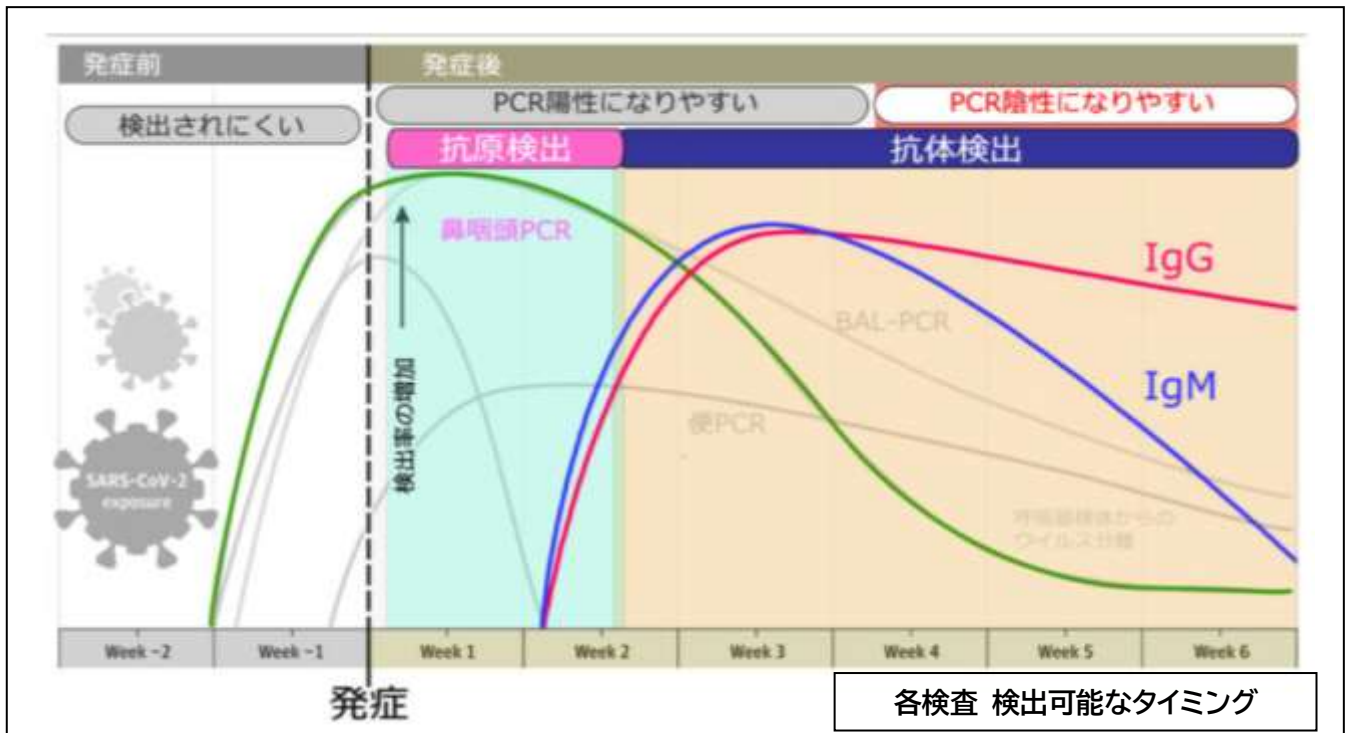
★当院のPCR検査結果例(陰性例)

(陽性例)



右方向に見て N1 (青線) N2 (赤線) が平坦

右方向に見て N1 (青線) N2 (赤線) が上昇



Interpreting Diagnostic Tests for SARS-CoV-2. JAMA. Published online May 6, 2020. doi:10.1001/jama.2020.8259 より引用仮訳

一般的にウイルス感染後、IgM 抗体は 1-2 週間(感染初期)、IgG 抗体は 2-3 週以降(回復期)に出現しますが、抗体検査陽性であっても「二度と新型コロナウイルスにかからない」ということではなく、半年ほどで抗体量が減少し再感染も見られます。個人差もありますが、ワクチン接種は予防効果を期待したいところですが、主に重症化予防に有用であると思われます。

片桐 医院